**アンケート・ピックアップ**

**12月22日　横浜国立大学ＶＢＬ客員教授　元（株）神奈川サイエンスパーク　取締役　　志茂　武　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　最高品質と必要とされる品質の違いについて感銘を受けました。自分は理系の人間ということもあり、常に先端の研究をすることに関心がありますが、よりプラクティカルな側面としての品質について考え直させられました。また同時に高品質なものを一般のレベルまで落とし込む研究の必要性も感じました。（理工・建築都市環境系・一年）

今までの講義では、ベンチャー企業の具体的な事業内容について学んできため、今回ベンチャー支援サイドから見た企業という視点は新鮮でした。たくさんの企業を支援しているからこそ見透すことのできる今後や、失敗から学ぶ要因など第三者の視点からのお話は貴重なものでした。起業のためのプロセスやビジネスモデル確立など成功にも方法があることを学びました。(経済学部・経済システム１年)

ビジネスというと、利益を上げることだけを目指していると安直に考えていましたが、ビジネスと社会問題の解決を両立させる社会的起業という存在を知って、ビジネスも悪いものではないと思いました。また、そういった社会的起業に非常に興味が湧きました。そして、今までベンチャー企業を立ち上げた方々のお話を聞いてきたのですが、どのようにして起業したのかということがよく分かりませんでした。しかし、今日ベンチャーインキュベーションという起業家を支援してくれるところが自分の周りにはたくさんあるということを知れたので、利用してみたいと思いました。（経済・経済システム一年）

今までの授業ではベンチャー企業の代表取締役の人が多かったけれど、志茂先生はベンチャー企業を支える立場だった人ということで、ベンチャー企業を外から見た人の話は珍しく興味深かった。レジュメにおいて、リーダーの条件に赤字で書かれた「夢を与える」という言葉が目にとまった。今まで講義を受けてきてリーダーの条件に「夢を与える」ということを聞いたのは初めてで少し驚いたが、顧客に夢を与えることでまた顧客がこの会社のサービスや商品を利用したいと思い、その連鎖によって顧客を増やしていくと考え納得した。また、今回の授業で社会的事業について詳しく知ることができた。この事業は今まで講義でお話をして下さった方がやっている分野と少し違い、社会で深刻になっている問題に目を向けて変えていくものであり、まだまだ解決されていない問題が沢山ある分野に踏み込むことは自分たちでいろいろできるため、上から目線ではあるが目の付け所がいいと思った。（経済・国際経済1年）

　リーダーの条件として①夢を与える②先見性③戦略性という３つの考え方はとてもしっくりきました。僕も今、リーダーの壁に当たっているので、特に「夢を与える」ことを意識してがんばろうと思いました。ただし、要求品質のお話で２つ思ったことがありました。１つ目は要求を満たすだけでは、カスタマー・マイオピアの陥ってしまうのではないかということ、２つ目は大学とビジネスは別枠で考えなければならないのではないかということです。ビジネスも研究もしていない大学生の意見ではありますが、率直な感想です。（経済学部・国際経済学科・１年）

今回のお話はビジネスの基礎的な部分が多く経営学科でない私にとってはとても勉強になりました。さらに経験豊富な志茂さんのどういう企業が成功するか失敗するかというお話はとても面白かったです。また、ベンチャービジネスでは当事者意識を持つことが大切であるということがよくわかりました。ビジネスモデルにおいて、重要なことは「要求品質」に適うことで、「最高品質」ではないという言葉は印象に残りました。私は将来技術者を目指しているので、最高品質という自己満足に終わることなく、お客のニーズに合わせた「要求品質」を目指そうと思います。(理工・電情・3年)

社会的起業など、起業するにあたって起業のあり方など、仕組みを考えることが大切だと感じました。起業は収益がなければ継続できないので、しっかり計画を立てることが必要だと思います。そのためにいろいろな人からの意見やアドバイスをいただくのは重要だと思います。今回のお話をきいて、こんなに起業する人たちを支援しようとしてくるところがあることを初めて知ると同時に少し安心しました。（理工・建築・2年）

　私は山口絵里子さんの本を読んだことがあり、将来は国際協力の世界で仕事をしたいと思っています。マザーハウスに影響され、将来の選択肢の一つとして社会的企業の創設を考えていたところだったので、本日のお話は大変参考になりました。（経営学部・国際経営学科１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　本日の講義を聞いて、社会的起業や創業支援について、わかりました。それらの2つとも協力し合うことが大事なのではないかと思います。社会的起業は社会と思いやりを持ちながらのつながりであり、創業支援は思いやりの塊だと思うからです、だから、私もビジネスにつながるような思いやりの形を考えていこうと思います。 (経営・国際経営・1年)

私は教育学部ということもあり、日本の教育に関して問題意識を抱いています。卒業したら教員になろうと思っています。「ベンチャー役人たれ」という言葉は印象に残りました。たとえどんな環境に置かれようとも、挑戦心と熱いハートを持ち続けることができれば、充実した人生を送ることができるかもしれないという楽しみな気持ちになりました。（教育・学教・4年）

経済を学ぶ自分にとって企業を育てる企業という立場の仕事はとても興味があります。残り三年間でより多くの知識を得て、このような仕事への就職を視野に入れます。（経済・国際経済一年）

経営者の能力に必要なものとして「正直、感謝、信頼感醸成努力」がありました。この要素は、経営者だけに限った話ばかりではないと思います。なので、今でも意識してはいますが、日々正直に感謝を忘れず誠実に生き、多くの人の信頼感得て夢を実現させます。（教育人間科・人間文化・一年）